

あいかわ自然観察会 10月



- ◆事業目的：①ファミリーコミュニケーション運動にあわせて、家族や子どもたちのふれあいをはかる。
②村の自然とその四季による変化を知る。
③生き物のつながりを知り、身近な自然に目を向けるきっかけとする。

◆参加者数：14名

◆今にも雨が降りそうな曇り空の下、花や虫、鳥などを観察しました。虫取り網をもった少年は積極的に虫を見つけてくれて観察の幅が広がります。今回はトリノフンダマシの卵のうを発見し、「これは繭？」など意見を交わしていました。普段なら見逃してしまうイネ科の花やコケの繁殖方法などもじっくり観察します。ハナバチとクマバチ、ホウジャクの蜜の吸い方の違いにも感嘆の声が上がります。会が終わってからも観察を続けている方もいて、蝶の卵やカマキリの食事などを見ることができました。そんな生き物同士の関わりや命のサイクルなどを感じ、考えていただけたことでしょう。(文責：石川)

担当スタッフ：石川、吉田